

# 備前

苗字ほか	作者	掲載
備前岡山	定直	1685年 鈴木清風編『稻筵』
備前岡山	茂門	1685年 鈴木清風編『稻筵』
備前岡山	定直	1686年 筒井庄兵衛重勝板行『貞享三年歳旦集』
葛西住	無友	1688 宝井其角編『戊たつ歳旦』
備前岡山	晩翠	1689『俳諧大三物』
備前岡山	丁直	1689『俳諧大三物』
備前岡山	独笑	1689 池西言水編『俳諧前後園』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	雲鹿	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	茂門	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	茂門	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	野草	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	茂門	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	茂門	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前岡山	晩翠	1689 斎藤晩翠編『俳諧せみの小川』
備前	定直	1690 北条回水編『俳諧秋津嶋』
備前	茂門	1690 北条回水編『俳諧秋津嶋』
備前	定直	1690 三井秋風編『俳諧吐綬雞』
備前	晩翠	1690 三井秋風編『俳諧吐綬雞』
備前岡山	茂門	1690 三井秋風編『俳諧吐綬雞』
備前	晩翠	1690 三上和及編『俳諧雀の森』
姫路	素伯	1690 大淀三千風編『日本行脚文集』 発句
葛西	枕也	1690 大淀三千風編『日本行脚文集』 発句
姫路	素伯	1690 大淀三千風編『日本行脚文集』 連句
備前岡山	定直	1690 大淀三千風編『日本行脚文集』 連句
備前岡山	定直	1691 井筒や庄兵衛板『俳諧三物盡』
備前	晩翠	1691 島順水編『俳諧渡し船』
備前	定直	1691 流木堂江水編『元禄百人一句』
備前	晩翠	1691 流木堂江水編『元禄百人一句』
備前	雲鹿	1691 琴枝亭律友編『俳諧四國猿』
備前	旧白	1691 琴枝亭律友編『俳諧四國猿』
備前国	応声	1691 富尾似船編『瀬田の長橋』
備前国	是春	1691 富尾似船編『瀬田の長橋』
備前	西松	1691 児玉好春編『新花鳥』
備前	定直	1692 須藤梅員編『吉備中山』

苗字ほか	作者	掲載
備前	兀峰	1692 水間沾徳編『俳林一字幽蘭集』
姫路	水狐	1692 楊々子編『俳諧浦島集』
備前八浜	眼雲子	1692 斎藤晩翠編『元禄五年晩翠歳旦』
備前佐伯	一夢	1692 斎藤晩翠編『元禄五年晩翠歳旦』
備前福山	義勇	1692 斎藤晩翠編『元禄五年晩翠歳旦』
備前大富	蟻心	1692 斎藤晩翠編『元禄五年晩翠歳旦』
備前浮上	安仲	1692 斎藤晩翠編『元禄五年晩翠歳旦』
備前	晩翠	1692 麻野幸賢編『俳諧河内羽二重』
備前(ビゼン)	好名	1692 和氣遠舟編『俳諧すかた哉』
姫路(ヒメチ)	弥生	1692 御風山春色編『俳諧わたまし抄』
備前	茂門	1693 大久保長水編『白川集』
備前	雲鹿	1693 紅雪編『佐郎山』
備前	后覚	1693 紅雪編『佐郎山』
備前	貞直	1693 紅雪編『佐郎山』
備前	晩翠	1693 紅雪編『佐郎山』
備前	露白	1693 紅雪編『佐郎山』
備前	貞直	1693 紅雪編『佐郎山』
備前岡山	応声	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
ひせんの国岡山 =備前国	是春	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
ひせんの国岡山 =備前	不風	1694 富尾似船編『絵入堀河之水』
備前岡山	雲鹿	1694 島順水編『俳諧童子教』 発句
備前小倉	村時雨	1694 島順水編『俳諧童子教』 発句
備前岡山	晩翠	1694 島順水編『俳諧童子教』 発句
備前	兀峰	1694 志太野坡・小泉孤屋・池田利牛編『すみたわら』
豆州三島	利徹	1694 立羽不角編集『俳諧蘆分船』